

# 輸出事業計画

※申請者名：JAグループ福島米輸出連絡会議

品目：コメ・包装米飯（パックご飯）・冷凍米飯

## 1. 輸出における現状と課題

### 【現状】

- 福島県内では震災前から中国向けをはじめとして米輸出に取り組んでおり、震災以降、輸出先国の輸入規制により一時途絶えたものの、平成28年頃から通常の主食用米を活用して輸出を再開し、近年では新市場開拓用米としても輸出に取り組む。
- 米の需給状況から飼料用米を主体とする需給調整に取り組んできているが、今後を考えた場合、飼料用米を中心とした取組には限界があるため、JAグループとして県域で組織体をつくり、輸出拡大に取り組むこととした。
- 多収品種への品種転換やICT農機によるスマート農業活用などによる徹底した生産コスト低減や、これまでの「玄米・精米」での継続的な取組に加え、「包装米飯（パックご飯）」「冷凍米飯」の原材料供給を行うとともに、海外需要の拡大を図り、ニーズに対応できる産地形成に取り組む。

### 【これまでとこれからの輸出の取組】

- 令和6年度では、北米や欧州、アジア向けに計712トンの輸出を行った。
- 令和7年度以降は、特にアジア（香港・シンガポール）を中心に、多収品種の「玄米・精米」に加え、「包装米飯（パックご飯）」「冷凍米飯」の輸出を伸ばしていく。

### 【課題】

#### <生産段階>

- 多収品種の栽培技術の確立や多収品種の導入・切替、コスト低減による生産者所得の確保が課題。

#### <加工段階>

- 価格・保存性・輸送コスト・簡便性等、輸出先国・地域のニーズにあった新商品開発が課題。

#### <販売段階>

- 輸出先国・地域のニーズの把握に加え、各段階でのコスト低減を図り、継続的な取引が成立する価格の実現が課題。

## 2. 輸出事業計画の取組内容

### <生産段階>

- 福島県で実施する多収品種の栽培技術確立の試験研究や現場実証の結果を展開するとともに、国や他県 開発品種への導入・切替を検討し現場実証につなげる。また、生産者所得をシミュレーションし、所得を可視化することで作付誘導を図る。

### <加工段階>

- 包装米飯（パックご飯）の原料には新市場開拓用米、冷凍米飯の原料には加工用米を使用することに加え、多収穫・良食味を兼ね備えた品種の採用やスマート農業技術の導入による生産コスト低減、簡便性と長期保存、輸送コストの低減が可能な商品開発を目指す。

### <販売段階>

- 輸出先国インポーター等と連携し、海外市場ニーズの逐次把握、新規開拓を含む販路拡大を行うとともに、製造段階での生産コスト低減や、保存性が高くカートン単位での輸送に適した商品開発を行い、輸送の効率化を図るなど、取組全体で商品価格を抑え、継続取引が可能な価格実現を図る。

## 輸出事業計画

※申請者名：JAグループ福島米輸出連絡会議、  
品目：コメ・包装米飯（パックご飯）・冷凍米飯

### 3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制

生産	流通	製造・販売（輸出）
県下JA	全農（福島県本部・本所）	全農インターナショナル（株） JA全農ラドファ（株）（想定） 他冷凍米飯製造メーカー
<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員数5JA</li> <li>・生産計画策定</li> <li>・生産者からの集荷</li> <li>・低コスト生産</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出荷調整</li> <li>・生産計画策定</li> <li>・JAからの集荷</li> <li>・輸出業者との調整</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・輸出国の市場調査</li> <li>・消費者ニーズの把握</li> <li>・輸出業務</li> <li>・現地販売業務</li> <li>・「包装米飯・冷凍米飯」商品開発及び製造</li> </ul>
JAグループ福島米輸出連絡会議（全体の取り組み計画企画・決定）		

#### 役割分担

○県下JA：生産者対応、低コスト生産体制の構築

○中央会・全農（福島県本部・本所）：取り組み方針の策定、JA・全農インターナショナル（株）との出荷調整

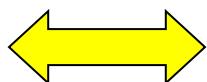
○全農インターナショナル（株）：販売促進、輸出国への輸出

○JA全農ラドファ（株）：包装米飯（パックご飯）の商品企画開発及び製造

○他冷凍米飯製造メーカー：冷凍米飯の商品企画開発及び製造

※関係者でJAグループ福島米輸出連絡会議の場で定期的な意見交換会を開催し、PDCAを実施。

JAグループ  
福島米輸出  
連絡会議



JA・中央会・全農・全農インターナショナル（株）  
・JA全農ラドファ（株）・他冷凍米飯製造メーカー・県他

### 4. 輸出目標額

	現状 (令和3年度)	目標年 (令和10年度)
輸出額（万円）	4,000	30,000
輸出量（t）	200	1,000
輸出先国	ｲﾝﾄﾞﾆｰｼﾞｱ・フィリピン・ 香港・シンガポール	香港・マレーシア・タイ・シンガポール・ カナダ・米国・ｲﾝﾄﾞﾆｰｼﾞｱ・ｲｽﾗｴﾙ